

叔父とめい 二人三脚

小林プロがキャディー

ゴルフ女子・辻
(佐野日大高出)

活躍と成長たてる

21日に最終日を迎えた東京2025デフリンピックのゴルフ競技に出場した辻結名(19)・佐野日大高出身、県聴覚障害者協会IIを、プロゴルフアディットで叔父の小林伸太郎(39)がキャディーとして支えた。二人三脚で目指してきた表彰台には届かなかった。幼少期から長年見守ってきためいが持つ力を尽くした晴れ舞台の4日間。「本意によく頑張つて成長してくれた」と、戦績を超えた感激に浸った。

(平山紗也華)

デフリンピック
TOKYO 2025



キャディーとして辻を支えた叔父の小林(左) 21日午前10時10分、東京都江東区、磯真奈美撮影

援する姿を小林は今も覚えてる。

辻が3歳のころ、聴覚障害があると分かった。母である姉絹枝さん(48)から「耳が悪くても、ゴルフのできるのかな」と尋ねられた。周囲には聴覚障害のプレーヤーもいた。「補聴器を付ければ普通にできる。悲観することなんてない」と励ました。

最初は、両手を後ろから抱えるようにしてクラブの振り方を教え、辻が10歳で本格的に競技を始めると練習場やコースで技術を教え込んだ。辻は自らを追うように県内の強豪・佐野日大高に進み、地力を付けた。

デフリンピックへの出場も小林が勧めた。「せっかくの自国開催」の祭典に日の丸を背負う姿は、これまで辻を支えてくれた人への何よりの恩返しになると思っただけだ。自らキャディーを申し出、夢舞台に向けた力を合わせてきた。

辻は表彰台こそ届かなかったが、個人と男女混合で入賞に食い込んだ。貴重な国際大会の経験は、19歳の新鋭にとってさらなる飛躍

への糧だ。「ショートゲームの繊細なプレーなど随所に結名の成長を感じられ

投資詐欺 600万円被害

SNS型、宇都宮の男性

21日午前、宇都宮市、無職男性(76)が「現金6070万円をだまし取られた」と宇都宮東署に届け出た。署はSNS(交流サイト)型投資詐欺事件として捜査している。

署によると、男性は7月下旬ごろ、スマートフォンでSNSを利用し、投資に関する広告に興味を持ちメッセージを送信した。女性から連絡があり「私たちが共有している優良銘柄の情報は高確率で利益を出せる」と誘われて投資を始めた。指定されたサイト内で口座を開設して株を買すると短期間で利益が出たように表示された。

高根沢さん、薄井さん 世界一 知事に報告



福田知事(右)に優勝を報告する高根沢さん(左)と薄井さん 21日午後、県庁